

5-ALA ニュース

No. 7

5-アミノレブリン酸の哺乳期幼齢牛への給与による成長と免疫への効果

酪農学園大学 高橋俊彦教授との共同研究(2020年 日本獣医師会獣医学術学会年次大会)



■ 材料

3~58日齢で導入したホルスタイン種 子牛173頭(対照群47頭、早期給与群23頭、後期給与群103頭)

■ 方法

・試験区分 対照群：5-ALA無給与

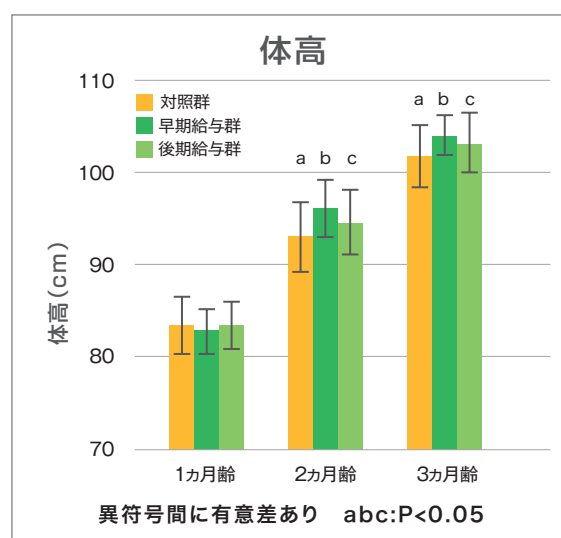
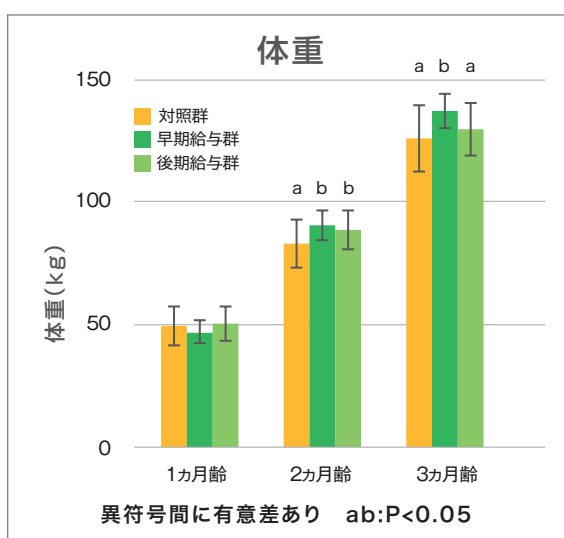
早期給与群：導入日齢が10~19日齢の子牛に5-ALAとして35mg/日を代用乳と同時に給与

後期給与群：導入日齢が20~29日齢の子牛に5-ALAとして35mg/日を代用乳と同時に給与

ただし、5-ALA給与期間が10日以上を解析対象とした

・測定項目：体重、体高、胸腺スコアおよび試験期間中における1頭あたりの治療日数

結果



疾病状況(1頭あたりの平均治療日数±標準偏差)

	対照群	早期給与群	後期給与群
治療日数	7.3±6.7	3.8±4.2	6.6±7.0
うち下痢	1.9±2.4	1.6±2.7	2.1±2.9
うち呼吸器病	5.3±6.1	2.1±2.6	4.4±5.5

胸腺スコアにおいては各群において高い値を示した。

また、5-ALAの平均給与日数は、早期給与群61日、後期給与群70日であり、両群に有意差は認められなかった。

子牛への5-ALA給与は、成長促進に有効であることが示唆され、早期から5-ALAを給与する方が良好な傾向がみられた。また、5-ALAの早期給与は疾病回復に寄与する可能性が示唆された。



neopharma Japan



DSファーマアニマルヘルス